

Japanese Society for Laboratory Animal Resources

LABIO 21

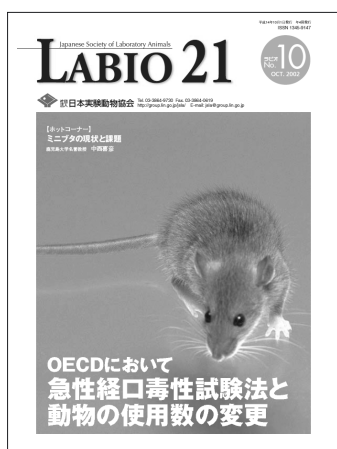
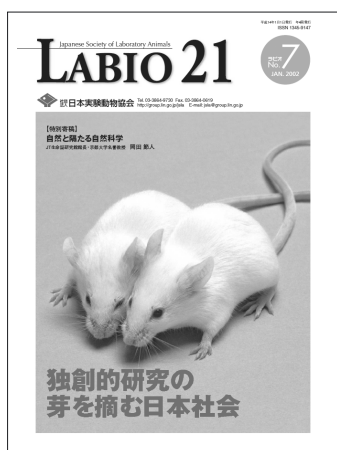
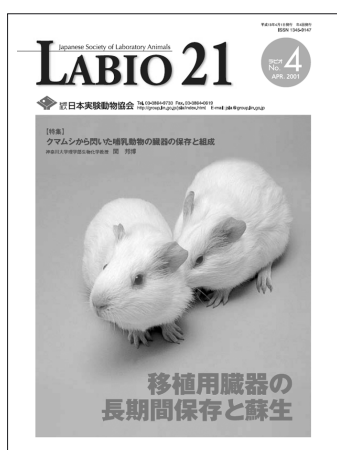
LABIO 21 総索引

〈No.1～No.24〉



社団法人 日本実験動物協会

(社団法人実験動物協会機関誌 LABIO 21 第25号付録)
平成18(2006)年7月1日発行



NO. 1

平成12（2000）年7月1日発行

新しく生まれ変わった日動協機関誌LABIO 21をお届けします。

特 集

動物個体を用いた組換えDNA実験指針の省庁間の差異について ————— 糸原 重美
第16回通常総会開催される

ホットコーナー

明治時代に撲滅されたはずの「口蹄疫」の発生について ————— 森村 栄一
JBICおよびバイオECプロジェクト ————— 安達 秀和

海外散歩

ドリーの里で ————— 大和田 一雄

海外技術情報

- ・ポストゲノム（ゲノム後）時代においてヒト遺伝性疾患の動物モデルは必要か？
- ・ES細胞由来クローンマウス

連載記事

ムシのはなし（第6話・完）—寄生虫は役に立つ— 倉持 利明

ラボテック

動物飼育施設におけるGLPの対応は、ソフト、ハードいずれに重点を置くべきか？ ————— 荒巻 正樹
実験動物飼育機の自動化は、どの程度まで可能か？ ————— 荒巻 正樹

La-house

実験動物学会の動き

ほんのひとりと

協会だより

図書案内

社団法人日本実験動物協会組織図

KAZE ————— 新聞 治男

NO. 2

平成12（2000）年10月1日発行

遺伝情報の利用と実験動物 ————— 小安 重夫

特 集

ゲノム創薬を目指して ————— 山本 達郎
ゲノム時代における動物実験 ————— 橋本 正晴

ホットコーナー

危機管理について ————— 柏木 利秀

海外散歩

ドル・ハルバンに迎えられて ————— 土井 邦雄

海外技術情報

- ・ラットにおける舌下静脈からの採血法の改善
- ・ヘルペスウイルス *Herpesvirus papio 2*：サルBウイルスの血清診断における代替抗原としての利用
- ・ラットにおける長期にわたる摂餌及び飲水制限がオープンフィールド行動と血清コルチコステロン値に及ぼす影響
- ・二酸化炭素を用いたラットの安楽死—動物福祉の観点から

連載記事

スナネズミのはなし（第一話） ————— 土屋 公幸

ラボテック

ラットにおける繰り返し採血法と注意点 ————— 仁田 修治

コンジェニック系統ははどのような目的で作製されるか

————— 加藤 秀樹

La-house

実験動物学会の動き

ほんのひとりと

協会だより

KAZE ————— 久原 孝俊

ラボテック資料写真

NO. 3

平成13（2001）年1月1日発行

21世紀における日動協の新たな挑戦 ————— 光岡 知足

特 集

21世紀の生命科学 ————— 村上 陽一郎

ホットコーナー

動物愛護管理法（改正動管法）の制定経緯と趣旨内容等について
サルへの輸入検疫及び猫等の輸出入検疫が開始されて

海外散歩

AALAS Meeting と洋鵜 ————— 夏目 克彦

海外技術情報

- ・医学生物学研究のためのトランスジェニックウサギ：現在の状況、基礎的な手技および将来の展望
- ・スナネズミの胃潰瘍モデルにおける *Helicobacter pylori* の分布
- ・B細胞欠損マウスにおける *Pneumocystis carinii* および *Pasteurella pneumotropica* の二重感染：診断と治療
- ・PCR 法によるトランスジェニックマウスの遺伝子型判別のためのDNA 調製法

連載記事

スナネズミのはなし（第二話） ————— 名和 行文

ラボテック

飼料を滅菌すると何が違って何が変わらないのでしょうか ————— 野澤 卓爾
飼料を滅菌する、しないで動物に何か影響はあるのでしょうか ————— 野澤 卓爾

La-house

実験動物学会の動き

ほんのひとりと

協会だより

KAZE ————— 局 博一

NO. 4

平成13（2001）年4月1日発行

動物実験の将来 ————— 林 良博

特 集

クマムシから閃いた哺乳動物の臓器の保存と蘇生

————— 関 邦博

ホットコーナー

実験動物技術師の資格認定制度を巡る諸問題
—LA-houseの質問への回答を含めて— ————— 高垣 善男
第一回医用ミニブタ研究会に出席して ————— 筒井 真理子

海外散歩

DIAワークショップと欧州動物実験事情 —— 大島 誠之助

海外技術情報

- ・多数のラットに脳腫瘍細胞を移植するための脳定位固定法に代わる方法
- ・非拘束マウスにおける血圧の遠隔測定：予備試験
- ・ラットへの一晚の糖類給与は代謝恒常性を維持し、一晚の絶食法よりも望ましい
- ・肺炎球菌実験感染マウスにおける麻酔薬の影響

連載記事

スナネズミのはなし（第三話） —— 土屋 公幸

ラボテック

日本の水道水は、いつでも全国どこでも一定の品質で供給されているのでしょうか？ —— 岩城 隆昌
水道水由来の飲水をオートクレープ処理すれば、実験動物にとって適切な飲水になりますか？ —— 岩城 隆昌
水道水由来の飲水を限外濾過や逆浸透装置等で処理した水が、実験動物にとって合理的な飲水でしょうか？ —— 岩城 隆昌

La-house

新聞広告「モルモット解放」について

実験動物学会の動き

ほんのひとりとこ

協会だより

KAZE —— 野澤 卓爾

N0. 5

平成13（2001）年7月1日発行

「日本実験動物科学技術大会2001」を終えて —— 前島 一淑
特 集

幹細胞による再生医療研究と実験動物 —— 中辻 憲夫

ホットコーナー

自然科学研究の客観的評価と21世紀のパラダイム

—— 関 邦博

海外散歩

米国トキシコロジー学会とInformatics —— 苗代 一郎

海外技術情報

- ・PCR法および血清学的検査によるマウスの*Helicobacter hepaticus*、*H. rodentium* および *H. bilis* 感染のモニタリング
- ・アルギン酸により被包化した *Pasteurella multocida* 毒素および *P. multocida* チオシアン酸カリウム抽出液によるニュージーランドホワイトウサギへの鼻腔内ワクチン接種
- ・市販ブタ用ワクチンによるウサギの *Pasteurella multocida* に対する免疫
- ・新生子の里親哺育によるヘリコバクター属感染症の根絶
- ・野生ラット (*Rattus norvegicus*) を用いた血圧調節に関与する遺伝子のマッピング
- ・CO₂ 安楽死の方法の違いによる免疫学および血液学的因子の変動

疾患モデル動物開発エピソード ①

WHHL —— 渡辺 嘉夫

ラボテック

コンジェニックおよびリコンビナント系統の作出意義とその方法について —— 増井 則夫

La-house

実験動物学会の動き

ほんのひとりとこ

協会だより

KAZE —— 大島 誠之助

N0. 6

平成13（2001）年10月1日発行

わが国の動物福祉が目指すべき方向 —— 鍵山 直子
特 集

理研バイオリソースセンター

わが国のライフサイエンス研究基盤を支援する —— 森脇 和郎

ホットコーナー

陰圧飼育装置の微生物モニタリング —— 高倉 彰

海外散歩

国際トキシコロジー学会より —— 有馬 和範

海外技術情報

- ・近赤外線レーザー照射に関する皮膚モデル：2種のブタ (*Sus scrofa domestica*) の比較検討
- ・エクトロメリアウイルスの汚染した輸入マウス血清の使用によるマウスポックスウイルス感染
- ・血清学的診断およびPCR法を用いたマウスパルボウイルス1の検出におけるマウスの系統と週齢の影響

疾患モデル動物開発エピソード ②

LECラットの開発経緯と裏話 —— 吉田 勉弘

ラボテック

検疫室には、どんな飼育機器が適切でしょうか？

—— 荒巻 正樹

実験動物施設の排水の考え方を教えてください。

—— 荒巻 正樹

La-house

実験動物学会の動き

ほんのひとりとこ

協会だより

KAZE —— 荒巻 正樹

N0. 7

平成14（2002）年1月1日発行

日動協に期待する —— 菅野 茂
特別寄稿

自然と隔たる自然科学 —— 岡田 節人

特 集

独創的研究の芽を摘む日本社会 —— 光岡 知足

ホットコーナー

マウス系統統合検索システムについて —— 山崎 由紀子

牛海綿状脳症(BSE)と実験動物飼料

—— 日本実験動物飼料協会

海外散歩

中国両広実験動物考察旅行 —— 三枝 順三

海外技術情報

- ・超音波による正常モルモット胎仔における両側頭頂結節間距離（大横径）および臍帯動脈血流の測定
- ・脳実質への非生理的溶液の長期注入：pH、浸透圧、流速の影響
- ・腹水モノクローナル抗体産生に用いられるマウスの行動学的、臨床的、および生理学的解析
- ・ラットにおける2つの異なる採血法：眼窩静脈叢採血法と舌下静脈採血法の臨床病理学的比較

・ラットの尾部切開による連続採血法の改良
ラボテック
実験動物用飼料の保存期間は、どの位？ —— 岩田 建治
ほんのひとりと
実験動物学会の動き
協会だより
KAZE —— 日柳 政彦

N0. 8 平成14（2002）年4月1日発行

新薬開発における実験動物の現状と将来 —— 池田 衡
特 集
生体機能評価の領域を広げるテレメトリー法 —— 局 博一
ホットコーナー
牛海绵状脳症に関連した動物性たん白質原料使用規制の一部
解除と実験動物飼料 —— 日本実験動物飼料協会
海外散歩
ベトナムの実験用サル繁殖コロニーを訪ねて —— 日柳 政彦
海外技術情報

- ・新しいミエリン形成不全ラットBouncer Long Evans
に関する神経病理学的検索
- ・ヌクレオキャプシド遺伝子の塩基配列解析を用いた日本の
動物施設におけるマウス肝炎ウイルスの分類
- ・ *Mycoplasma pulmonis* による生殖器感染症：妊娠出産に
及ぼす影響のラット系統差
- ・トランスジェニックマウスにおけるマウス肝炎ウイルス
の持続性伝播
- ・ラットウイルスに急性または持続感染した妊娠ラットから
の出生子におけるラットウイルス感染症罹患率
- ・抗生物質治療を受けていない実験動物コロニーに由来する
細菌分離株における抗生物質耐性

疾患モデル動物開発エピソード ③
KKとYellow KKマウス —— 西村 正彦
ラボテック
イヌとワクチン接種 —— 丸山 みゆき
ほんのひとりと
実験動物学会の動き
協会だより
KAZE —— 市川 哲男

N0. 9 平成14（2002）年7月1日発行

第49回日本実験動物学会総会を終えて —— 西村 正彦
特 集
日本のBSEとリスク科学 —— 吉川 泰弘
ホットコーナー
文部科学省改定組換えDNA実験指針について
—— 安居院 高志
海外散歩
中国実験動物万華鏡 その1：巨竜の実験動物界を支える
人々 —— 浦野 徹
海外技術情報

- ・クローン動物肥満の謎—クローン・マウスは肥満の表
現型を示すが、その表現型は子孫マウスへは伝わらない

- ・一霊長類初 米国でトランスジェニックサル誕生—成熟
未受精卵へのレトロウイルスを用いた遺伝子導入による
トランスジェニックサルの作製
- ・ラットにおけるブプレノルフィン経口投与による鎮痛効果
- ・トランスジェニックマウスの福祉評価を行うためのスコ
アシートの使用
- ・ミニブタのヒトに対する反応と馴化
- ・2系統のラットにおけるブプレノルフィンによる鎮痛処
置が術後回復に与える影響
- ・マウスにおける腹腔内麻酔薬投与法の最適化：麻酔薬、
投与量、有害な影響、麻酔深度

ラボテック
プラスチック容器の洗浄・殺菌 —— 荒巻 正樹
La-house
実験動物学会の動き
ほんのひとりと
協会だより
KAZE —— 三枝 順三

N0. 10 平成14（2002）年10月1日発行

第14回国際ラット遺伝システムワークショップの開催
について —— 芹川 忠夫
特 集
急性経口毒性試験法と動物の使用数
—— 中里 良治
ホットコーナー
ミニブタの現状と課題 —— 中西 喜彦・辻 隆之
海外散歩
アルゼンチンとブラジルの実験動物センター —— 伊藤 豊志雄
海外技術情報

- ・マウスに移植した哺乳類新生仔の精巣における精子形成
- ・実験用マウスにおける *Helicobacter bilis* 感染に対する診
断法の評価
- ・ケージ交換頻度の減少が個別換気式ケージシステムにお
いて飼育されたマウスの健康状態に及ぼす影響
- ・ラットにおける眼窩後部静脈叢、伏在静脈、および尾静
脈からの採血：行動学および血液学的影響についての
比較
- ・ミニブタにおける血液学的数値の変動に及ぼす測定前処
置の影響
- ・ウサギにおけるデスフルランおよびイソフルランによる
麻酔導入
- ・肝炎易発症性であるA/JCrマウスの盲腸における
Helicobacter hepaticus の長期にわたる定着は、肝炎抵抗性
であるC57BL/6マウスよりも有意に少ない

La-house
特注飼料（特殊飼料）とは —— 日本実験動物飼料協会
モニタリング研修質問の解説 —— 高倉 彰
実験動物学会の動き
実験動物の年間(平成13年度)総販売数調査 —— 日動協
ほんのひとりと
協会だより
KAZE —— 仁田 修治

No. 11

平成15(2003)年1月1日発行

21世紀の疾患モデル動物の展望——山村 研一 特集

21世紀の創薬と実験動物／動物実験の果たす役割

——田村 浩司

ホットコーナー

情報公開法：東北大学の動物実験に関する内閣府情報公開
審査会の答申について ——笠井 憲雪

海外散歩

中国実験動物万華鏡 その2：学術交流を求めて

——浦野 徹

海外技術情報

- ・体細胞核移植—哺乳動物クローン技術の現状と未来—
- ・概日変動および日常の飼育管理が免疫学的パラメーターに及ぼす影響の系統差：雄のC57BL/6 J、BALB/c, CB6F1マウスを用いた研究
- ・ラットにおいて飼料中の脂肪含有量を増加させることにより、睡眠遮断により誘導される免疫抑制を防ぐことができる
- ・新生仔ラットへの使用を目的とした経口気管内投与法
- ・ラットにおける静脈内薬物投与のための体内埋め込み型装置
- ・麻酔下経口気管内捜管ラットにおける、肺を介した全身的薬剤デリバリーのための新しいエアロゾルデリバリーシステムの開発

疾患モデル動物開発エピソード④

NODマウスの開発 ——牧野 進

ラボテック

トランスジェニックマウス等の効率的作成のための心がけ

——多田 昇弘

La-house

動物モデル ——長谷川 篤彦
モニタリング研修質問の解説 ——高倉 彰

ほんのひとごと

実験動物学会の動き

協会だより

KAZE ——椎橋 明広

No. 12

平成15(2003)年4月1日発行

第50回日本実験動物学会総会開催に向けて ——寺尾 恵治 特集

アウトソーシング—受託側の立場から

——椎橋 明広

ホットコーナー

動物実験に関わる個人と組織の認定制度 ——鍵山 直子

海外散歩

私の海外散歩 ——松田 幸久

海外技術情報

- ・マウスゲノム配列の初めての解読と比較解析
- ・野生捕獲したシカネズミ (*Peromyscus maniculatus rufinus*) からの繁殖コロニーの確立：野生捕獲したペアと実験繁殖したペアにおける繁殖能力の比較

- ・適切なラット数の推定：飼育環境の影響
- ・代謝異常症候群モデルとしての肥満ゲッチングミニブタ：肥満、インスリン感受性、成長ホルモン動態に及ぼす食餌の影響
- ・実験用マウスにおけるマウスパルボウイルス感染検出のためのELISA法の検証
- ・マウス着床前胚培養における静的および流動的培地環境の比較

疾患モデル動物開発エピソード⑤

OLETFラット ——河野 一弥

ラボテック

オゾンの殺菌への応用 ——釜瀬 幸広

La-house

平成14年度実験動物技術師認定試験をふりかえって

——大和田 一雄

実験動物と労働安全衛生 ——黒澤 努

実験動物学会の動き

ほんのひとごと

協会だより

KAZE ——櫻井 康博

No. 13

平成15(2003)年7月1日発行

第37回日本実験動物技術者協会総会を終えて——八木澤 誠 特集

労働者派遣法の改正とその背景

——小嶋 典明

ホットコーナー

実験動物福祉実態アンケート調査報告 ——鍵山 直子

海外散歩

韓の国、とび飛び日記から ——新関 治男

海外技術情報

- ・2細胞期マウス胚の実用的なガラス化凍結保存法における最適平衡条件
- ・床敷き材料が粘膜免疫応答に及ぼす影響
- ・DBA/1マウスにおける食殺抑制を目的とするパーフェナジンの使用
- ・コンベンショナル環境下のウサギ飼育室における空気汚染物質
- ・日常の干渉がマウスの繁殖能力に及ぼす影響
- ・ヒトと動物の相互作用と動物福祉：通常飼育およびペン飼育ラットの比較

連載記事

ウイルス感染症：過去・現在・未来 ——山内 一也

ラボテック

電解水（酸性電解水）——鈴木 政美

実験動物学会の動き

ほんのひとごと

協会だより

KAZE ——久原 孝俊

NO. 14

平成15（2003）年10月1日発行

ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」の進捗状況 ————— 芹川 忠夫

特 集

「実験動物の飼養及び保管等に関する基準」の改正案めぐって ————— 浦野 徹

ホットコーナー

真菌症の問題点（カラー写真別掲載） ————— 長谷川 篤彦

海外散歩

アメリカ視察録 ————— 古本 佳代

米田嘉重郎先生の思い出 ————— 生江 美佐子

海外技術情報

- ・体細胞へのDNAの導入：種および系統による違いについて
- ・蛍光RT-PCR法を用いた齧歯類コロナウイルスの検出
- ・TaqMan R T-P C R法および血清学的検査によるマウス肝炎ウイルス流行感染の除去

ラボテック

長期飼育飼料の必要性 ————— 日本実験動物飼料協会

La-house

日動協の実験動物教科書はどう変わるか ————— 鍵山 直子

実験動物学会の動き

実験動物技術者協会の動き

ほんのひとりとこ

協会だより

KAZE ————— 三枝 順三

NO. 15

平成16（2004）年1月1日発行

今後の免疫アレルギー研究 ————— 谷口 克

特 集

科学者の捜し物—ナノテクの夢・バイオの夢 — 河田 聡

シリーズ連載 ①

実験動物施設の歴史的考察 ————— 朝倉 康之

海外散歩

アフリカにおける実験動物技術協力 ————— 浅野 敏彦

ホットコーナー

英国における動物実験（1）—現状とハンティンドン・ライフサイエンス社の対応— ————— ブライアン・キャス（翻訳 久原 孝俊）

連載記事

「旅をする寄生虫」
—エキノコックス症の現状、今後の対策— — 神谷 正男

ラボテック

ISO14001取得について — 丸山 みゆき、大島 誠之助

実験動物学会の動き

ほんのひとりとこ

新刊のご案内

協会だより

KAZE ————— 新関 治男

NO. 16

平成16（2004）年4月1日発行

日本実験動物科学・技術 ながさき2004開催に向けて

————— 佐藤 浩、渡辺 洋二、菅野 茂

トピックス

アジアにおける実験動物学会の新しい潮流

—アジア実験動物学会連合の設立— ————— 笠井 憲雪

特 集

獣医師会による学校の飼育教育支援 ————— 中川 美穂子

シリーズ連載 ②

実験動物施設の歴史的考察 ————— 朝倉 康之

海外散歩

小型ブタを探して3千里 ————— 谷岡 功邦、石井 一

連載記事

最近注目される耐性菌感染症 ————— 横田 好子

海外技術情報

- ・ICRマウスにおけるトリプロモエタノール、ケタミン/キシラジン、ペントバルビタール、およびイソフルラン麻酔薬の肝臓組織・リンパ組織への初期影響
- ・ラットおよびマウスにおける安楽死処置用ガスに対する忌避反応
- ・麻酔下の幼若ブタにおける一酸化炭素（CO）法を用いた血漿量測定
- ・インドおよび中国由来アカゲザル（*Macaca mulatta*）における主要組織適合遺伝子複合体（MHC）クラスII DQA1とDQB1対立遺伝子（アレル）の頻度の比較

La-house

平成15年度実験動物二級技術師資格認定試験結果の概要について ————— 大和田 一雄

ほんのひとりとこ

実験動物一級・二級技術師資格認定試験における選択動物種群の改正について ————— 大和田 一雄

実験動物学会の動き

協会だより

KAZE ————— 仁田 修治

NO. 17

平成16（2004）年7月1日発行

実験動物生産に関する農林水産省の対応について

————— 山本 洋一

特 集

遺伝病と体内及び体外環境 ————— 山村 研一

シリーズ連載 ③

実験動物施設の歴史的考察 ————— 朝倉 康之

海外散歩

中国 指導された専門家 ————— 吉武 泰弘

ホットコーナー

英国における動物実験（2） ————— ブライアン・キャス（翻訳 久原 孝俊）

疾患モデル動物開発エピソード ⑥

自然発症高脂血症マウス ————— 松島 芳文

ラボテック

様々なモデル動物用飼料 ————— 日本実験動物飼料協会

トピックス

実験動物生産施設の模擬調査について——鍵山 直子
『動物の愛護管理のあり方検討会』の動き——田口 福志

La-house

微生物モニタリングの検査方法の選択——高倉 彰

ほんのひとりごと

平成15年度実験動物一級技術師認定試験結果概要報告

——大和田 一雄

学会の動き

技術者協会の動き

協会だより

KAZE——櫻井 康博

No. 18

平成16（2004）年10月1日発行

再生医療と実験動物——辻 紘一郎

（社）日本実験動物協会 会長代行就任のご挨拶——上松 嘉男
連載記事

アレルギー疾患 最近の話題——伊藤 幸治

ホットコーナー

感染症法及び狂犬病予防法の見直しについて

——吉川 泰弘

海外散歩

マドリッド超駆足訪問記——山田 章雄

疾患モデル動物開発エピソード ⑦

LEXF/FXLE RI 系ラットの開発経緯とその利用

——志佐 端

ラボテック

血液形態からみた実験動物——松本 清司

海外技術情報

- ・マウスにおける環境エンリッチメントの影響
1：飼育環境が体重、臓器重量および血液学的数値に与える影響およびその系統差
- ・蛍光スクレーパーPCR法による齧歯類 *Helicobacter* 属菌の検出
- ・*Helicobacter hepaticus*感染129S6/SvEvTacノックアウトマウスコロニーにおける早期離乳および感染個体淘汰による*H. hepaticus*の根絶
- ・PCR法による*Streptobacillus moniliformis*の検出
- ・頸静脈カニューレ挿入ラットにおけるジエチルエーテル、ハロタン/O₂/N₂Oあるいは偽麻酔への複数回暴露による内分泌系のストレス反応
- ・ラットにおける急性肝傷害の血中マーカーとしてのグルタミン酸脱水素酵素の利点

La-house

肺パスツレラ（Pp）のマウス・ラットに対する病原性について——高倉 彰

学会の動き

技術者協会の動き

ほんのひとりごと

協会だより

KAZE——日柳 政彦

No. 19

平成17（2005）年1月1日発行

創薬における動物実験の今日的課題——佐神 文郎
特集

ヒトの肝細胞を持つマウス——立野 知世、吉里 勝利

シリーズ連載 ①

「犬の皮膚疾患」——長谷川 篤彦

ホットコーナー

感染症法の省令改正について——滝本 浩司

犬等の新たな検疫制度について——辻山 弥生

外来生物法の制定について

——環境省自然環境局 野生生物課

トピックス

実験動物生産施設の模擬調査が始まりました

——鍵山 直子

海外技術情報

- ・おとりマウスにおけるマウスパルボウイルス汚染の原因と思われる動物販売業者
- ・個別換気式ケージシステム飼育下のラットにおけるケージ換気の影響
- ・C57BL/6Jマウスの血清生化学標準値における性および週齢の影響
- ・免疫能の正常なマウスおよび免疫不全マウスからの腸親和性マウス肝炎ウイルスの伝播
- ・飼料中のフィトエストロゲンは未成熟CD-1マウスの膈開口時期を早める
- ・トランスジェニックマウスの特徴づけ：マウスの福祉評価法および表現型識別法の比較と今後に向けた取り扱い説明証書の提案

La-house

Pasteurella pneumotropica の同定法——高倉 彰

速報 平成16年度実験動物技術師資格認定試験結果

——大和田 一雄

「実験動物一級技術師」資格に対する大学生の受験特例の制定について——大和田 一雄

白河研修を終えて——高橋 秀幸、中谷 有里

ほんのひとりごと

技術者協会の動き

学会の動き

協会だより

KAZE——中川 真佐志

No. 20

平成17（2005）年4月1日発行

（社）日本実験動物協会 会長就任のご挨拶——後藤 信男

第52回日本実験動物学会総会開催に向けて——関口 富士男

第39回日本実験動物技術者協会総会開催に向けて

——中村 由希子

特集

単為発生マウス—かぐやの誕生——河野 友宏

シリーズ連載 ②

犬の皮膚疾患「犬の皮膚腫瘍」——代田 欣二

トピックス

日動協主催で「動物実験委員会のあり方」研修会開催される

「動物実験委員会のあり方」研修会に参加して——塩見 雅志
日動協研修会「動物の福祉を考える」に参加して

仁田 修治

ラボテック

空調システム(アクアクリーン空調方式)——荒巻 正樹

疾患モデル動物開発エピソード ⑧

睡眠障害モデルマウスの開発における偶然と必然

裏出 良博

実験動物技術指導員・準指導員制度の発足について

大和田 一雄

4年制大学在学学生の実験動物一級技術師受験特例の制定について

大和田 一雄

海外技術情報

- ・ラットにおける低分子物質の脳への浸透性(脳-血漿比)の検討における灌流効果の比較
- ・*Helicobacter hepaticus*感染A/JCrマウスの慢性腸炎における性差
- ・生物材料の感染性因子汚染の検出感度に関する *in vivo* 抗体産生試験と *in vitro* PCR法に基づく手法の比較

ほんのひとりと

La-house

モニタリング研修の質問——高倉 彰

学会の動き

技術者協会の動き

協会だより

KAZE——荒巻 正樹

No. 21

平成17(2005)年7月1日発行

21世紀のトキシコロジーの展望と動物実験の重要性

土井 邦雄

20周年記念式典挙行される・祝辞

町田 勝弘

トピックス

改正・動物愛護管理法公布——鍵山 直子

農林水産省「第二種使用等として行う遺伝子組換え実験動物の繁殖育成等の取扱いについて」——藤河 正英

文部科学省「〈カルタヘナ法〉解説資料抜粋」——文部科学省

特 集

実験動物に係る各種法令改正について——日柳 政彦

海外散歩

ギリシャ・コス島にて——三枝 順三

研究最前線

C型肝炎ウイルス研究と実験動物——松浦 善治

教育セミナーフォーラム2005

「最近話題の人獣共通感染症と実験動物の感染症」を開催して——喜多 正和

「実験動物における遺伝子改変技術の現状と畜産分野への展開」に参加して——小松 正憲

「実験動物における遺伝子改変技術の現状と畜産分野への展開」に参加して——佐々木 義之

ラボテック

ホルムアルデヒドガスを使用した新消毒(滅菌)法

田中 仁吾

海外技術情報

- ・停留精巣における精子形成に関する様々なマウス系統間での差
- ・スナネズミ(*Meriones unguiculatus*)に静脈内注射を行うための簡単な方法
- ・ラット肝臓エンドソームにおける酸性化に対する床敷の影響

La-house

培養検査に関する質問、寄生虫検査に関する質問——高倉 彰

ほんのひとりと

平成16年度(第20回)実験動物技術師認定試験結果

概要報告——大和田 一雄

学会の動き

技術者協会の動き

協会だより

KAZE——椎橋 明広

No. 22

平成17(2005)年10月1日発行

動愛法改正について思うこと——東海林 克彦 特 集

プリオン病の現状—牛海綿状脳症と変異型CJDを中心に

金子 清俊、八谷 如美

特 集

マウス精子の凍結乾燥——川瀬 洋介、鈴木 宏志

シリーズ連載 ③

犬の皮膚疾患「アレルギー疾患」——増田 健一

ホットコーナー

げっ歯類のパスツレラ症の現状と課題——川本 英一

海外散歩

楽園オーストラリア・パース——中川 真佐志

職場でのストレス——倉林 るみい

ラボテック

実験動物スンスの紹介——江袋 進

海外技術情報

- ・麻酔におけるラットの性差
- ・DBA/2マウスの繁殖成績に及ぼす種々の異なるラックシステムの影響
- ・雄の取り扱い：雄の実験用マウスによる攻撃性問題への対処
- ・ペア飼育に対する個別飼育のマウスにおける高い心拍数
- ・麻酔および鎮静処置によるN Z Wウサギの特定の血漿生化学パラメーターへの影響
- ・P167組換え抗原の *Helicobacter bilis* 血清診断への利用

ほんのひとりと

学会の動き

技術者協会の動き

日本実験動物協同組合の動き

協会だより

実験動物一級技術師資格認定試験を受験して——花輪 俊宏

KAZE——久原 孝俊

NO. 23

平成18（2006）年1月1日発行

新年にあたって実験動物協会に期待すること —— 姫田 尚
追悼 藤原公策先生 —— 三枝 順三
特 集

内視鏡外科手術講習会への支援

—— 上村亮三、瀬戸山健太郎

ラットにおける顕微授精技術 —— 平林 真澄、保地 眞一
研究最前線

小脳皮質のないマウス「セレベス」の創成と今後の期待

—— 星野 幹雄

ホットコーナー

PFIによる動物実験施設の建設と維持管理 —— 八神 健一

海外散歩

AALAS International Meeting出席の9日間の旅

—— 宮本 伸昭

ラボテック

再使用する床敷『アグレーブ』 —— 小村 浩司

放射線滅菌の原理と応用 —— 日本実験動物飼料協会

生体指紋認証システム搭載の記憶媒体を利用したデータ保

護について —— 大平 美智男

白河研修に参加して —— 吉田 忍

新制度による「実験動物技術指導員」の認定 —— 日動協

海外技術情報

・欧州では化粧品毒性試験のための動物使用が廃止される
見込み

・ブプレノルフィンのラットへの経口投与による鎮痛効果
における方法論的考察

・Norwalk-like virus（ノロウイルス）に対するSTAT-1
依存性の自然免疫

・マウスノロウイルス1感染診断のための蛍光マイクロビ
ーズ血清検査法とRT-PCR法の開発

・換気ケージラックにおける3種類の微生物学的モニタリ
ング方法の効果

・マウスにおける頸静脈へのカニューレ挿入：連続的に血
液サンプルを採取するための方法

La-house

モニタリング研修の質問 —— 高倉 彰

「実験動物の微生物モニタリングマニュアル」発刊の案内
学会の動き

平成16年度実験動物の総販売数調査結果について

—— 日動協

技術者協会の動き

ほんのひとりと

協会だより

KAZE —— 三枝 順三

NO. 24

平成18（2006）年4月1日発行

第53回日本実験動物学会総会開催にむけて —— 倉林 譲
特 集

実験動物の飼養と保管並びに苦痛の軽減に関する基準に

ついて —— 環境省自然環境局総務課動物愛護管理室

ホットコーナー

鳥インフルエンザについて —— 大槻 公一

シリーズ連載 ④

犬の皮膚疾患「皮膚病と内分泌機能」 —— 長谷川 篤彦

ホットコーナー

神戸医療機器開発センター(MEDDEC:メデック)について

—— 岩野 政信

研究最前線

遺伝子改変動物を用いた記憶の分子機構研究とその動物施設

—— 遠藤 昌吾

疾患モデル動物開発エピソード ⑨

疾患モデルとしてのトランスジェニックウサギの開発

—— 渡辺 照男

海外技術情報

・ラットの実験的肝転移における腹腔鏡検査法：新たな人
道的エンドポイントの査定法

・卵巣移植および体外受精に用いられた免疫応答能の正常
なICR(CD-1)マウス系統と免疫不全の無胸腺ヌードマウ
ス系統において自然感染したマウス肝炎ウイルスの組織
分布と存続期間

・系統の救助手段としてのラット卵巣の同所性移植

・実験用雄マウスの社会的接触および環境エンリッチメン
トに対する嗜好

・実験用ラットの巣材利用における若齢期学習の重要性

・PCRのためのマウスDNA採取と抽出の非侵襲的方法

海外散歩

北京散歩 —— 岩田 寿雄

ラボテック

飼料に対する放射線照射の影響 —— 日本実験動物飼料協会

米国の実験動物技術師認定制度調査報告 —— 大和田 一雄

La-house

飼育管理関連、感染事故への対応 —— 高倉 彰

ほんのひとりと

トピックス

第1回実験動物技術指導員研修会が開催される —— 日動協

学会の動き

技術者協会の動き

協会だより

KAZE —— 新関 治男

